

JAL不当解雇撤回裁判乗員原告団殿

JAL不当解雇撤回裁判客乗原告団殿

激 励 文

解雇撤回に向けた日々の闘いに敬意を表します。

6月3日、5日と東京高裁から出された判決は、不当極まりないもので多くの怒りを感じます。

私たち国労も分割民営化の闘いの中で多くの仲間が不採用になりました。

国労への採用差別をはじめ多くの攻撃は、組合つぶしであり、労働者にものを言わせないための攻撃でした。

JALで行われた解雇は、会社更生のどさくさにまぎれ行った不当労働行為であり、私たちがかけられた攻撃と同じ組合つぶしです。

その不当な攻撃に対して司法が手を貸すかの如くの判決を出すなど断じて許せるものではありません。

今、この不当な判決を許してしまうなら解雇自由な社会が生まれ、戦後、労働者が勝ち取り、築き上げてきた権利が根底から崩れ去ります。

私たち国労は、このような世の中を作り上げさせないためにJAL不当解雇撤回原告団はもとより、航空労働者、多くの労働者とともに連帯し闘います。

闘いは厳しいものがありますが、多くの仲間の力があれば、不当な攻撃も跳ね返せます。

勝利の日までともに闘う決意を表明し、激励といたします。

2014年6月10日

国鉄労働組合東海本部

執行委員長 杉本洋一

